

5 福薬業発第 3 1 7 号
令和 5 年 1 0 月 6 日

各地区薬剤師会会長 殿

公益社団法人福岡県薬剤師会
常務理事 窪田 敏夫

日本臨床腫瘍薬学会「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」への
ご協力のお願について（周知依頼）

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

標記につきまして、日本薬剤師会より別添のとおり通知が届きましたのでお知らせいたします。

標記調査は、日本臨床腫瘍薬学会において、専門医療機関連携薬局を対象に取組みの状況などを毎年定点で調査するものとなっております。

つきましては、貴会会員薬局の中で標記該当の薬局がございましたら、アンケート調査にご協力いただきますようご周知お願い申し上げます。

記

■Google フォーム URL:<https://forms.gle/QueHV23HJKzkQk2gz5>
(既に該当薬局には送付済み)

■回答期限：令和 5 年 1 1 月 3 0 日（木）

以 上

日薬業発第 234 号

令和 5 年 10 月 2 日

都道府県薬剤師会担当役員殿

日本薬剤師会

副会長 渡邊 大記

日本臨床腫瘍薬学会「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」への
ご協力のお願について（周知依頼）

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本臨床腫瘍薬学会より、「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」の実施について連絡がありました。

同調査については、日本臨床腫瘍薬学会において、専門医療機関連携薬局を対象に取組みの状況などを毎年定点で調査するものとなります。

つきましては、本調査について、専門医療機関連携薬局の会員をはじめとする貴会関係者にご周知くださいますようお願い申し上げます。



令和5年9月吉日

公益社団法人 日本薬剤師会
会長 山本 信夫 殿

一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会
理事長 近藤 直樹

「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」へのご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会(以下「JASPO」)への活動等にご理解、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて JASPO では、専門医療機関連携薬局認定制度に対応すべく、外来がん治療専門薬剤師 (BPACC) の認定制度を創設するとともに、主として薬局薬剤師を対象にがん診療病院連携研修 (病院実地研修) を令和3年度より導入しています。令和5年8月1日時点において、薬局薬剤師の BPACC 取得者 (暫定を含む) は約 220 名を超え、がん診療病院連携研修の修了者は令和5年7月末までに約 346 名を輩出しており、専門医療機関連携薬局の認定薬局拡大に向け、事業を推進して参りました。また、令和4年11月には専門医療機関連携薬局における実態を把握すべくアンケート調査を行いました (今回、当該アンケート調査の結果を同封させていただいております)。

つきましては、昨年度に引き続き専門医療機関連携薬局を対象にしたアンケート調査を実施することとなり、別添のとおり専門医療機関連携薬局へアンケート調査を依頼しました。本調査は、毎年定点で調査を実施することとなっており、国からも注目を集めるものとなっております。貴会からも所属される専門医療機関連携薬局に対して、アンケートへのご協力をお願いしたく存じます。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

専門医療機関連携薬局

責任者 殿

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会

理事長 近藤 直樹

「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」への ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会(以下「JASPO」)への活動等にご理解、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さてご存じのとおり、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の改正に伴い、令和3年8月より専門医療機関連携薬局の認定制度が施行されました。JASPOでは、本認定制度に対応すべく、外来がん治療専門薬剤師(BPACC)の認定制度を創設するとともに、主として薬局薬剤師を対象にがん診療病院連携研修(病院実地研修)を令和3年度より導入しています。令和5年8月1日時点において、薬局薬剤師のBPACC取得者(暫定を含む)は約220名を超え、がん診療病院連携研修の修了者は令和5年7月末までに約346名を輩出しており、専門医療機関連携薬局の認定薬局拡大に向け、事業を推進して参りました。また、令和4年11月には専門医療機関連携薬局における実態を把握すべくアンケート調査を行いました(今回、当該アンケート調査の結果を同封させていただいております)。

そこで、昨年度に引き続き専門医療機関連携薬局を対象にしたアンケート調査へのご協力をお願いいたたく存じます。今回の調査では、昨年度に引き続き Google フォームでのご回答をお願いいたします。下記 URL よりアクセスして下さい。また、情報管理の観点からご回答の際には、貴薬局の調査専用施設コードの入力をお願いいたします(同封の『Web 調査入力用 事前記入用紙』に貴薬局調査専用施設コードを記載しております)。

Google フォーム調査 URL

↓↓↓

<https://forms.gle/QeHV23HJKzkQk2gz5>



なお、本調査票は、最後に送信ボタンを押さない限り、設問間の移動や、回答修正が出来るような入力フォームとなっております。できるだけ全ての設問にご回答の上、送信ボタンを押してください。調査情報の機密性を確保するため、調査票内に薬局名や会社名など個々の薬局を特定できるような情報に関する設問はございません。調査専用施設コード(A から始まる 4 桁のコード)を最初にご記入ください。学会事務局で集積した個々の情報に関しては、決して漏えい等がないよう厳重に責任をもって管理いたします。回答時間の目安は 10 分程度となります。

ご多忙中に恐縮ではございますが、令和5年11月30日(木)までにご回答をお願い申し上げます。本件に関しまして、ご不明な点等ございましたら、下記までご連絡ください。

敬具

同封書類

- 「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」へのご協力のお願い(本文) 1枚
- 専門医療機関連携薬局に関する実態調査(Web 調査入力用 事前記入用紙) 1枚
- 専門医療機関連携薬局 年次定点調査(2022年11月実施)集計報告書 1枚

【お問い合わせ先】日本臨床腫瘍薬学会 担当:平坂
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
(株)毎日学術フォーラム内
TEL:03-6267-4550(代表)、E-mail: jaspo@mynavi.jp
以上

専門医療機関連携薬局に関する実態調査 2023 (Web 調査入力用 事前記入用紙)

ご回答は以下の URL または QR コードよりお願いいたします。

本調査は、専門医療機関連携薬局施設毎 (1店舗) の回答となります。代表の方がご記入ください。

貴施設の施設コード (**施設毎に通知**) ※A+3桁の数字

<https://forms.gle/QeHV23HJKzkQk2gz5>



I. 専門医療機関連携薬局の直近の届出実績に関する調査

直近の届出時に使用した認定適合表を元にご回答ください

(1) 適合表 4：がん治療に係る患者の情報を医療機関に報告及び連絡した実績

- ① 過去1年間のがん患者総数 () 人
- ② ①のうち、がん治療に係る医療機関に勤務する薬剤師等に報告及び連絡した患者数 () 人
- ③ 報告または連絡した情報提供回数 () 回

(2) 適合表 7：休日及び夜間の調剤応需体制

過去1年間の調剤の実績 () 回

(3) 適合表 8：在庫するがんに係る医薬品を必要な場合に他の薬局開設者の薬局に提供する体制

過去1年間のがんに係る医薬品提供の実績 () 回

(4) 適合表 9：麻薬の調剤応需体制

過去1年間の調剤の実績 () 回

(5) 適合表 10：医療安全対策

- ① 医薬品に係る副作用等の報告 過去1年間の報告回数 () 回
- ② 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業への参加 過去1年間の報告回数 () 回

(6) 適合表 11：継続して1年以上常勤として勤務している薬剤師の体制・がんの専門性を有する常勤として勤務している薬剤師

- ① 常勤として勤務している薬剤師数 () 人
- ② 継続して1年以上勤務している常勤薬剤師数 () 人
- ③ がん薬物療法全般に係る専門性を有すると認定を受けた常勤薬剤師数 () 人

2. 外来がん治療における病院と保険薬局の連携に関する設問

※実績期間は、今年10月末までの直近1年間（令和4年11月以降に認定された場合には、認定取得翌月以降今年10月末まで）とし、数値は月平均をご回答ください

(1) がん以外を含む全処方箋の受付回数（ _____ /月平均）回

(2) 特定薬剤管理指導加算 2 の算定状況について（ _____ /月平均）回

(3) 医療機関から保険薬局へ提供された情報（複数選択）

全く提供されていない[1]から、常に提供されている[4]までの4水準でご回答ください。

◇ レジメン	[1]	[2]	[3]	[4]
◇ がん種	[1]	[2]	[3]	[4]
◇ がんの重症度 (Stage)	[1]	[2]	[3]	[4]
◇ 副作用	[1]	[2]	[3]	[4]
◇ 検査値	[1]	[2]	[3]	[4]

(4) 保険薬局から医療機関へ提供した情報（複数選択）

① 情報の種類とその程度

全く提供していない[1]から、常に提供する[4]までの水準でご回答ください。

◇ 副作用	[1]	[2]	[3]	[4]
◇ 相互作用	[1]	[2]	[3]	[4]
◇ 処方提案	[1]	[2]	[3]	[4]
◇ 指導内容	[1]	[2]	[3]	[4]
◇ 疼痛管理	[1]	[2]	[3]	[4]
◇ 服薬状況	[1]	[2]	[3]	[4]
◇ 患者の精神状況	[1]	[2]	[3]	[4]
◇ 患者の生活状況	[1]	[2]	[3]	[4]

② 保険薬局から医療機関への提案内容の上位3項目を選択してください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| () 支持療法薬の追加・変更 | () 副作用に応じた減量・休薬 |
| () 相互作用回避のための処方変更 | () 体重や検査値に応じた用量の変更 |
| () 飲み忘れ回避のための用法変更 | () 服用しづらさ改善のための剤形の変更 |
| () 検査の依頼 | () OTC(栄養剤等含む)の使用 |
| () 処方薬の処方日数の変更 | () その他 () |

③ 患者評価の結果「副作用などの問題がなかった場合」における医療機関への情報提供について

- 原則、問題がなかった場合は情報提供しない
- 原則、問題がなくても、評価結果を情報提供する
- 状況によりいずれの場合も存在する
- その他 ()

3. 専門医療機関連携薬局の周知の有無とその方法

- | | | |
|--------|--------------------------------|--------------------------------------|
| ① 医療機関 | <input type="checkbox"/> していない | <input type="checkbox"/> している→方法 () |
| ② 患者 | <input type="checkbox"/> していない | <input type="checkbox"/> している→方法 () |
| ③ 地域住民 | <input type="checkbox"/> していない | <input type="checkbox"/> している→方法 () |

4. 施設属性

(1) 企業規模

従業員数 50 名未満 従業員数 50 名以上

(2) 店舗数

1 2-5 6-10 10-20 21-50 51-100 100 以上

(3) 薬局の立地

- がん診療連携拠点病院の門前
 がん診療連携拠点病院以外の病院の門前
 地域・郊外型
 マンツーマン型（クリニック門前など）
 ゾーン型 1（医療モール・医療ビレッジ等）
 ゾーン型 2（地域広域応需）
 病院敷地内薬局 その他（ ）

(4) 主にがん患者の処方箋を応需する医療機関（複数回答可）

- がん診療連携拠点病院 特定機能病院 地域医療支援病院 その他病院
 診療所、クリニック その他（ ）

(5) がん関連専門薬剤師の人数 常勤者の人数（回答時点）

地域薬学ケア専門薬剤師（がん）（ ）人
外来がん治療専門薬剤師（ ）人

学会事務局で集積した個々の情報に関しては、決して漏えい等がないよう厳重に責任をもって管理いたします。
本調査へのご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

専門医療機関連携薬局 年次定点調査

(2022年11月実施)

集計報告書

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会

1. 専門医療機関連携薬局の更新申請時の実績に関する調査（2022年調査データ）

1. (1) 適合表 4：①がん治療に係る患者の情報を医療機関に報告及び連絡した実績 過去1年間のがん患者総数	中央値(メディアン)	119
	四分位範囲	316.75
	N	102
1. (1) 適合表 4：②がん治療に係る患者の情報を医療機関に報告及び連絡した実績 ①のうち、がん治療に係る医療機関に勤務する薬剤師等に報告及び連絡した患者数	中央値(メディアン)	67
	四分位範囲	151.5
	N	102
1. (1) 適合表 4：③がん治療に係る患者の情報を医療機関に報告及び連絡した実績 報告または連絡した情報提供回数	中央値(メディアン)	126
	四分位範囲	264
	N	101
1. (2) 適合表 7：休日及び夜間の調剤応需体制 過去1年間の調剤の実績	中央値(メディアン)	50
	四分位範囲	439
	N	101
1. (3) 適合表 8：在庫するがんに係る医薬品を必要な場合に他の薬局開設者の薬局に提供する体制 過去1年間のがんに係る医薬品提供の実績	中央値(メディアン)	2
	四分位範囲	4
	N	102
1. (4) 適合表 9：麻薬の調剤応需体制 過去1年間の調剤の実績	中央値(メディアン)	326
	四分位範囲	537
	N	101
1. (5) 適合表 10：① 医療安全対策 医薬品に係る副作用等の報告 過去1年間の報告回数	中央値(メディアン)	0
	四分位範囲	1
	N	95
1. (5) 適合表 10：② 医療安全対策 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業への参加 過去1年間の報告回数	中央値(メディアン)	4
	四分位範囲	9
	N	103

1. (6) 適合表 11： 常勤薬剤師数	中央値(メディアン)	6
	四分位範囲	5
	N	102
1. (6) 適合表 11： 継続して1年以上勤務している常勤薬剤師数	中央値(メディアン)	5
	四分位範囲	4
	N	103
1. (6) 適合表 11： がん薬物療法全般に係る専門性を有すると認定を受けた常勤薬剤師数	中央値(メディアン)	1
	四分位範囲	0
	N	103

1'. 専門医療機関連携薬局の更新申請時の実績に関する調査（更新施設初回申請時）

1' (1) 適合表 4： ①がん治療に係る患者の情報を医療機関に報告及び連絡した実績 過去1年間のがん患者総数	中央値(メディアン)	152.5
	四分位範囲	493.25
	N	70
1' (1) 適合表 4： ②がん治療に係る患者の情報を医療機関に報告及び連絡した実績 ①のうち、がん治療に係る医療機関に勤務する薬剤師等に報告及び連絡した患者数	中央値(メディアン)	84
	四分位範囲	240.25
	N	70
1' (1) 適合表 4： ③がん治療に係る患者の情報を医療機関に報告及び連絡した実績 報告または連絡した情報提供回数	中央値(メディアン)	156
	四分位範囲	393.25
	N	68
1' (2) 適合表 7： 休日及び夜間の調剤応需体制 過去1年間の調剤の実績	中央値(メディアン)	83.5
	四分位範囲	544.25
	N	68
1' (3) 適合表 8： 在庫するがんに係る医薬品を必要な場合に他の薬局開設者の薬局に提供する体制 過去1年間のがんに係る医薬品提供の実績	中央値(メディアン)	2
	四分位範囲	10.5

	N	69
1' (4) 適合表 9：麻薬の調剤応需体制 過去1年間の調剤の実績	中央値(メディアン)	361
	四分位範囲	451.5
	N	68
1' (5) 適合表 10：① 医療安全対策 医薬品に係る副作用等の報告 過去1年間の報告回数	中央値(メディアン)	0
	四分位範囲	1
	N	66
1' (5) 適合表 10：② 医療安全対策 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業への参加 過去1年間の報告回数	中央値(メディアン)	4
	四分位範囲	8
	N	69
1' (6) 適合表 11：常勤薬剤師数	中央値(メディアン)	6.5
	四分位範囲	6
	N	70
1' (6) 適合表 11：継続して1年以上勤務している常勤薬剤師数	中央値(メディアン)	5
	四分位範囲	4
	N	70
1' (6) 適合表 11：がん薬物療法全般に係る専門性を有すると認定を受けた常勤薬剤師数	中央値(メディアン)	1
	四分位範囲	0
	N	70

2. 外来がん治療における病院と保険薬局の連携に関する設問

2. (1) がん以外を含む全処方箋の受付回数 (/月平均)

中央値(メディアン)	2485
四分位範囲	2500
N	107

2. (2) 特定薬剤管理指導加算 2 の算定件数 (/月平均)

中央値(メディアン)	2
四分位範囲	7.45
N	108

2. (3) 医療機関から保険薬局へ提供される情報の種類とその程度

	1. 全く提供されていない		2. ほとんど提供されていない		3. 状況によって提供されている		4. 常に提供されている	
	列%	N	列%	N	列%	N	列%	N
情報の種類とその程度 [レジメン]	4.59%	5	16.51%	18	48.62%	53	30.28%	33
情報の種類とその程度 [がん種]	35.45%	39	20.91%	23	30.91%	34	12.73%	14
情報の種類とその程度 [がんの重症度 (Stage)]	59.09%	65	20.91%	23	15.45%	17	4.55%	5
情報の種類とその程度 [副作用]	16.36%	18	28.18%	31	37.27%	41	18.18%	20
情報の種類とその程度 [検査値]	7.34%	8	20.18%	22	37.61%	41	34.86%	38

2. (4) ①保険薬局から医療機関へ提供した情報の種類とその程度

	1. 全く提供していない		2. ほとんど提供していない		3. 状況によって提供している		4. 常に提供している	
	列%	N	列%	N	列%	N	列%	N
①情報の種類とその程度 [副作用]	0.92%	1	0.00%	0	47.71%	52	51.38%	56

①情報の種類とその程度 [相互作用]	7.34%	8	37.61%	41	46.79%	51	8.26%	9
①情報の種類とその程度 [処方提案]	0.00%	0	25.00%	27	67.59%	73	7.41%	8
①情報の種類とその程度 [指導内容]	0.92%	1	12.84%	14	61.47%	67	24.77%	27
①情報の種類とその程度 [疼痛管理]	0.00%	0	23.15%	25	60.19%	65	16.67%	18
①情報の種類とその程度 [服薬状況]	1.83%	2	8.26%	9	54.13%	59	35.78%	39
①情報の種類とその程度 [患者の精神状況]	8.33%	9	38.89%	42	50.00%	54	2.78%	3
①情報の種類とその程度 [患者の生活状況]	6.42%	7	28.44%	31	55.96%	61	9.17%	10

2. (4) ②保険薬局から医療機関への具体的な提案内容

	列%	N
OTC(栄養剤等含む)の使用	9.09%	10
飲み忘れ回避のための用法変更	11.82%	13
検査の依頼	6.36%	7
支持療法薬の追加・変更	90.91%	100
処方薬の処方日数の変更	32.73%	36
相互作用回避のための処方変更	22.73%	25
体重や検査値に応じた用量の変更	27.27%	30
副作用に応じた減量・休薬	80.00%	88
副作用の状況共有	0.91%	1
服用しづらさ改善のための剤形の変更	18.18%	20

2. (4) ③保険薬局から医療機関へ提供した情報の種類とその程度③患者評価の結果「副作用などの問題がなかった場合」における医療機関への情報提供

原則、問題がなかった場合は情報提供しない	全体に対する%	8.18%
	N	9
原則、問題がなくても、評価結果を情報提供する	全体に対する%	62.73%

	N	69
状況によりいずれの場合も存在する	全体に対する%	28.18%
	N	31
病院との取り決めで Grade 0 では情報提供しない。	全体に対する%	0.91%
	N	1

3.1 専門医療機関連携薬局の周知の有無

医療機関への周知	N
医療機関への周知を行っている	86
患者への周知	
患者への周知を行っている	94
地域住民への周知	
地域住民への周知を行っている	56

3.2 具体的な周知方法について

各種医療機関への具体的な周知方法	N	患者への具体的な周知方法	N	地域住民への具体的な周知方法	N
口頭	4	掲示	5	ホームページ	3
ホームページ	3	薬局内掲示	3	掲示	3
掲示	2	ホームページ	2	Hp でのアナウンス	1
面会	2	ポスター	2	HP の記載	1
薬剤部へ報告	2	掲示物	2	HP 掲載	1
がんに係る専門的な研修の実施時	1	店内掲示	2	Web	1
カンファレンス参加時に周知	1	店舗内掲示	2	ネット、口頭	1
カンファレンス時に周知	1	認定証の掲示	2	ホームページ、薬局に掲示	1
がん化学療法に関するセミナー開催	1	薬局内に掲示	2	ホームページ、薬局の屋外広告	1
トレレポ	1	薬局内への掲示	2	ホームページなど	1
ながの医療情報ネット	1	薬局内外への掲示	2	ホームページにて	1
パンフレット	1	がん患者に対して口頭案内	1	ホームページにて公開	1
ホームページ、屋外広告、病院との連携会	1	チラシの配布、口頭での説明	1	ホームページに記載	1
ホームページ、薬薬連携時	1	ネット、口頭	1	ホームページへの掲載	1

ホームページに掲載、訪問	1	ホームページ 店舗掲示板	1	ホームページ公開、薬局内外掲示	1
ホームページや薬局の窓へのカッティングシート	1	ホームページ、薬局に掲示	1	ホームページ等	1
ホームページ公開、薬局内外掲示	1	ホームページ、薬局屋外広告、薬局内掲示物、チラシ作成	1	ポスター、チラシ、イベント	1
ホームページ等	1	ホームページに掲載、店舗に掲示	1	マスメディアを通じて(新聞等)	1
医師と面会時に紹介、外向けのサイネージで掲示	1	ホームページ公開、薬局内外掲示	1	メール	1
医療機関への訪問	1	ホームページ等	1	屋外に向けて掲示	1
院長へのあいさつ時	1	ポスター、リーフレット、のぼり	1	会社 HP 県医療情報提供システム	1
院内薬局の薬局長に対し口頭で認定取得を報告	1	屋外屋内に向けて掲示	1	外部掲示	1
会議で口頭で伝達	1	会社 HP 県医療情報提供システム	1	外部掲示、ホームページ	1
近隣に勉強会を実施	1	外向けのサイネージで掲示	1	掲示物	1
研修会、連携カンファレンスなど	1	外部掲示	1	掲示物を用いた掲示	1
口頭、書面	1	外部掲示、ホームページ	1	行政の薬局機能の公開	1
口頭での PR	1	看板、説明の掲示と配布	1	市役所配布の生活便利帳 5万世帯	1
口頭で直接お伝え	1	看板やのぼり	1	専門医療機関であるシールを貼っている	1
口頭にて伝達	1	看板を設置	1	地域活動において周知	1
口頭伝授	1	局内掲示と服薬指導時の話題	1	店外、店内掲示	1
講演会の中でのお話や薬局長へのお知らせ	1	局内掲示物	1	店外掲示物	1
市薬剤師会を通じて市内医療機関への情報発信	1	緊急連絡先の記載された名刺をお渡し	1	店頭でポスターを掲示	1
紙面や HP によるがん治療に関するトピックスの提供	1	掲示する	1	店舗外 掲示板	1
新聞に掲載された。	1	掲示にて報告。	1	店舗外へ看板の設置	1

地域のがん研究会への参加、講演	1	掲示物での周知	1	店舗外部に専門医療機関連携薬局（がん）と掲示	1
地域の薬剤師会支部へ FAX・特2申請薬局への FAX	1	掲示物を用いた掲示	1	店舗内外への掲示	1
地域薬剤師会のメール、定期的な研修会	1	口頭、掲示	1	店舗入り口への掲示	1
直接訪問し報告した	1	社内掲示	1	入り口など掲示物	1
定期的なミーティングへの参加	1	店外、店内掲示	1	入り口への掲示	1
店外掲示	1	店頭にポスターを掲示	1	入口の掲示	1
店外向けた掲示、HP でのアナウンス	1	店内での掲示	1	認定証の掲示	1
店頭でポスターを掲示	1	店内ポスター、口頭	1	北海道医療機関情報システム、薬局ホームページへの掲載	1
店舗入り口への掲示	1	店舗に掲示	1	薬局にポスターを掲示	1
入口の掲示	1	店舗への掲示	1	薬局外掲示	1
病院の事務長に伝達、薬剤部の薬剤部長にも話	1	店舗外へ看板の設置	1	薬局機能情報	1
病院訪問、講演会で周知	1	店舗外部に専門医療機関連携薬局（がん）と掲示	1	薬局機能情報への掲載	1
病院薬剤部にお伝え	1	店舗掲示物	1	薬局窓ガラスへのカッティングシート	1
病院薬剤部に伝える	1	店舗内に認定証を掲示	1	薬局内外への掲示	1
文書	1	店舗内外に掲示あり	1	薬局内掲示、チラシ（かいてい通信）	1
勉強会の案内、情報提供を行なっている	1	店舗内外への掲示	1	薬剤師会の薬局一覧が府の HP リンクから検索可能	1
訪問など	1	店舗内外掲示	1		
北海道医療機関情報システム、薬局ホームページへの掲載	1	店舗入り口、店舗内掲示	1		
門前病院への報告、門前病院との連携	1	店舗入り口に掲示	1		

薬局から外に向けての掲示、市薬剤師会研修会でのアナウンス	1	店舗入り口のステッカー貼付	1		
薬局の自動ドアに専門医療機関連携薬局の旨を掲示している	1	店舗入口へ掲示	1		
薬局機能情報	1	店舗入口や店舗内掲示	1		
薬剤師会の認定薬局一覧	1	貼り紙の貼付。	1		
薬剤師会を通して	1	入り口、待合室など掲示物	1		
薬剤師会員向けの研修会実施	1	入り口への掲示	1		
薬剤部との連携会議	1	入口ドアに掲示 投薬台から見える場所に掲示	1		
薬剤部に挨拶	1	入口に掲示	1		
薬剤部に口頭で伝える	1	入口の掲示	1		
薬剤部に周知	1	認定プレートや薬局窓ガラスへのカッティングシート	1		
薬剤部への情報共有	1	認定証、専門薬剤師が常勤していることの掲示	1		
薬剤部へ口頭でお伝え	1	薬局にポスターを掲示	1		
薬剤部へ口頭説明	1	薬局に掲示	1		
薬剤部へ周知	1	薬局の入り口に掲示	1		
薬剤部へ連絡	1	薬局外に掲示	1		
薬剤部を訪問	1	薬局機能情報、入口への掲示	1		
連携会議	1	薬局掲示物	1		
連携会議時などでの報告	1	薬局自動ドアに専門医療機関連携薬局の旨を掲示している	1		
連携研修会	1	薬局店舗にてポスターを掲示している	1		
連携先医療機関と顔の見える関係性構築の中で	1	薬局内での掲示	1		

連携先医療機関へのみ口頭で伝達	1		薬局内に認定証掲示	1		
			薬局内外に掲示物にて周知	1		
			薬局内外への掲示物	1		
			薬局入口、掲示板への掲示	1		

4.施設属性

4. (1) 企業規模

従業員数 50 名以上	全体に対する%	89.09%
	N	98
従業員数 50 名未満	全体に対する%	10.91%
	N	12
すべて	全体に対する%	100.00%
	N	110

4. (2) 店舗数

1	全体に対する%	1.83%
	N	2
2-5	全体に対する%	3.67%
	N	4
6-10	全体に対する%	3.67%
	N	4
10-20	全体に対する%	2.75%
	N	3
21-50	全体に対する%	6.42%
	N	7
51-100	全体に対する%	0.92%
	N	1
100 以上	全体に対する%	80.73%
	N	88
すべて	全体に対する%	100.00%
	N	109

4. (3) 薬局の立地

がん診療連携拠点病院から3番目に近い薬局	1
がん診療連携拠点病院の門前	72
がん診療連携拠点病院以外の病院の門前	17
地域・郊外型（マンツーマン、医療モール・医療ビレッジ、地域広域応需等）	8
病院敷地内薬局	10
すべて	108

4. (3.1) 地域・郊外型細分

ゾーン型1（医療モール・医療ビレッジ等）	1
ゾーン型2（地域広域応需、いわゆる面応需）	4
マンツーマン型（クリニック門前など）	3
すべて	8

4. (4) 主にごがん患者の処方箋を応需する医療機関（複数回答可）

	列%	N
がん診療連携拠点病院	84.55%	93
その他病院	7.27%	8
県のがん診療指定病院	0.91%	1
診療所、クリニック	10.91%	12
地域がん診療連携拠点病院	0.91%	1
地域医療支援病院	20.00%	22
特定機能病院	21.82%	24

4. (5) がん関連専門薬剤師の人数 常勤者

4. (5) 1 常勤者がん関連専門薬剤師の人数 地域薬学ケア専門薬剤師 (がん)

平均	0.680851064
標準偏差	0.608413519
N	94

4. (5) 2 常勤者がん関連専門薬剤師の人数 外来がん治療専門薬剤師

平均	0.63
標準偏差	0.630135467
N	100

【要約統計量の選定基準】

連続尺度データについては度数分布が正規分布を仮定できる場合は、[平均値・標準偏差・N]を、仮定できない場合は [中央値・四分位範囲・N]を用いた。

順序尺度データについては、各設問に対する [列%・N] を用いた。

名義尺度データ (Yes/No) に関しては、[全体に対する%・N] を用いた。

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会

専門性の高い薬局薬剤師の養成推進 WG

専門医療機関連携薬局を対象とした調査作業班

